



## 岸田さん、

## 本当に平和に貢献しますか

お祭り騒ぎのようなG7が終わった。広島での開催に期待をした被爆者や国民の多くは本音のところ「何だったのかな」の感が強いのではないだろうか。岸田政権が世界平和と言っている裏で何をやってきたかをつぶさに見てみよう。

“アメリカ優先”  
国会審議は後で

昨年2月ロシアがウクライナに侵攻、岸田首相は5月にアメリカ訪問、バイデン大統領と会談し防衛費倍増を約束した。その後急遽「有識者会議」を立ち上げ12月には改訂版安保3文書を閣議決定してしまふ。そして今年1月またまたアメリカに行き日米共同声明で「共同抑止」を発表。戦後続いてきた「専守防衛」の考え方を簡単に変えてしまった。

建前が外れると、敵基地攻撃や沖縄の石垣、宮古島などへの自衛隊基地新設、巡航ミサイル大量購入、そして自前の武器防衛産業強化のための法律をあれよあれよという間に成立させてしまった。

憲法改定は最後に国民に問う国民投票という手続きがあるが実質的に改憲を行ってしまつたのが岸田政権ではないか。安倍政権よりもっと秘密主義でやっている。

兆円、国債費と地方交付金を除くと2番目に多い予算である。教育の貧困や子どもが満足に食べられない家庭などを置き去りにしている。この税金の使い方にはもっと国民がノーを突きつけねばならない。

“アメリカ優先”  
国会審議は後で

昨年2月ロシアがウクライナに侵攻、岸田首相は5月にアメリカ訪問、バイデン大統領と会談し防衛費倍増を約束した。その後急遽「有識者会議」を立ち上げ12月には改訂版安保3文書を閣議決定してしまふ。そして今年1月またまたアメリカに行き日米共同声明で「共同抑止」を発表。戦後続いてきた「専守防衛」の考え方を簡単に変えてしまった。

“防衛費10兆円”  
いきなり第2位予算に

1年くらいの間に国民的な議論もなく国会での採決もなく、ものすごいスピードで変えていつてしまった。曲がりなりにも「専守防衛」という

これらの施策には当然莫大なお金がかかる。23年度の防衛予算は一気に10兆円を超えた。社会保障費36・9

\*

今年度予算は成立してしまつたが、これからも軍事費を増やすのかまたは生活予算に回すのかは私たちの運動にかかっていると思う。衆議院解散も話題になっている。

岸田政権のG7では、平和へ向かう実質的な成果を見いださなかったことを肝に命じた。

## 5月の例会では「九条の会発足時のDVDを見る-あらためて活動について考える」をテーマに皆さんで意見交換をしました。

- ・九条はGHQに押し付けられたと思う人もいるが、二度と戦争を繰り返さないという反省の上に制定された。
- ・戦後77年平和に暮らすと過去の記憶も薄れて岸田政権が安保三文書と防衛費を倍増しても、あまり考えずに受け入れてしまう。
- ・政府は中国と台湾間の問題、北朝鮮ミサイル発射など安全保障環境を危機的状況のようにメディアに流し国民に脅威をあおっている。
- ・九条の会呼びかけ人は「我々にできることは、小さな人間が世界を変える。私たちが強く意見を言うことができるのは選挙であり、みんなで協力出来れば希望が出てくる」と。その他、活発な意見交換となりました。

6月10日の例会は DVDを見て意見交換をします。  
▶ テーマは「核」(DVD: 第5福丸被爆60年(2014年)です。

## 今月の予定です

＜コロナの感染状況で変更・中止することがあります。＞

6月 11日(日) 13:30～15:30

DVD視聴と意見交換 「嘘と政治と民主主義”米議会乱入事件”

南部梅郷公民館 南地域九条の会

6月 9日(金) 16:00～17:00

9の日行動 九条通信配布・ボードでアピール

川間駅 北口 野田・九条の会

6月 10日(土) 13:30～16:00

野田・九条の会 DVDを見て意見交換 「第5福丸被爆60年(2014年)」  
6月例会

中央公民館 講座室 野田・九条の会

6月 19日(月) 13:30～15:30

ちょっと硬派な「おしゃべりカフェ」 社会や政治のことなど気軽に  
おしゃべりしましょう。

イオンシア 3階 市民活動支援センター第2会議室 野田・九条の会

7月 2日(日) 13:30～15:30

DVD視聴と意見交換 映像は嘘をつく「映像プロバガンダ戦」

南部梅郷公民館 南地域九条の会

## 怖い！"緊急事態条項" 自民が狙う改憲は日本の進路を誤らせる



### 的はずれな議論がつづく憲法審査会

このところ憲法審査会が毎週開催されている。

議題は、衆議院が解散され議員が不在となった期間に緊急事態が発生したとき議員を復職させる、つまり議員任期を延長しようとするものだ。

現在衆議院が解散され総選挙で次の衆議員が選出されるまで最長70日間議員不在となる。この間、緊急事態などへの国会の対応は日本国憲法第54条で参議院緊急集会で行うと定めている。

改憲派は、緊急集会は平時の制度であり、70日間しか使えず、予算も決められないと主張する。だがこの主張はそもそも参議院の緊急集会とはどのようなもので、なぜ設けられているのかを知っての主張とはとても思えない。憲法制定時、制定議会で金森徳次郎担当大臣は「緊急時は緊急集会が国会を代替できること、総選挙後に衆議院の同意が必要」と説明し、その主旨は帝国憲法にあった緊急勅令、任期延長などがもたらした戦争の惨禍への反省であるとしている。参議院は「萬年国会」ともいえ3年ごとの半数改選で議員がいなくなることはなく、衆議員任期延長は不要といえる。

改憲派が審議時間を任期延長案で使いきり改憲へ進めようとするが、緊急事態条項の新設で本当に狙いたいのは他にある。



### "首相の一存"で戦争開始の恐ろしさ

緊急時直ちに対応するには内閣に全権を委任、一任された内閣は政令と予算を決め施行、自治体に指

示を出す、これが自民が狙う緊急事態条項で一見同意してしまいそうだ。だがこの内閣に全権を委任、政令の発布ここに重大な恐ろしさと危険を孕むことを先の敗戦が教えてくれている。

金森大臣は「民主政治、人権の擁護のためには政府一存で行いうる処置は極力防止しなければならない」と述べている。つまりときの首相の一存でいかなる法も可能となる条項は制定にあたり避けたらう。ここにきて岸田首相は我が国の安全保障はかつてないほどの危機に直面していると国民を緊張させる。集団的自衛権の容認、敵基地攻撃能力、防衛費倍増これらで何をしようとするのか、全権委任させてしまったとき戦争は現実のものとなる。



### すでに悲惨な道へ踏み込んでいる

ウクライナ戦争が私たちの感情を大きく揺さぶるなか行われた世論調査結果は、防衛費増は容認だが防衛増税はならぬだ。不安が高まっていることを端的に現している。政府が言うかつてないほどの危機とは台中問題を指す。だが中国は一つ、台湾は独立せずの方針で外交力を発揮すれば危機は避けられる。しかし政府は沖縄の石垣、宮古、奄美大島などへミサイル配備を進め戦争への危機を高めるばかりだ。NATOへの接近、米国覇権への一方的な加担は私たちを悲惨な道へ引き摺り込みつつある。

### 茶色の便箋



関

青年のように前をではなく、後ろを振り返る事が多い歳になった。他界した親たちの古い手紙を妻が見つけてきた。三百通はあろうか。薄っぺらなハガキ一枚いちまいに思いがこめられていて字も達筆で感慨深い。その中の茶色に変色した一枚の便箋は、差出人不明だがシベリアへ送られた夫を待つ、筆者の母綾子の姉からのものと思われる。住まいは終戦直後なので疎開先の地方らしい。

文面から～綾子さん、至急またお願いしたいのですが善司さん(綾子の夫)に御苦勞でも米を持ってきていただきたいのです。この地方では配給が一週もおくられて何の手持ちもない私らは大きわざです。幸い野田からの米でどうやら命をつなぎましたが、ヤサイ一つないところですから、配給米が度々におくれるので全く食はずなのです。私一人なら1日や2日

我まんも出きるけれど、子どもが不びんでどうにか食わしてやりたい。山梨の兄さん(夫の兄)に手紙を出してたのんだんですが、返事なく、何だか兄さんがメクラ(原文ママ)になった夢を見て、どうかしたのではないかと思っています。全く夜も寝られず、結局、又、善司さんにお願ひするより仕方ないと決心して書きました。～

野田であっても農家ではない我が家も勿論食料難であったし、父は身体が弱く、気むずかしい人だけれど男手がないので頼られたのだろう。もう一通の手紙にも「お米を頼む」とあった。

この国は今、食料自給率が下がり国民は物価高騰にあえぎ、まともに食事にありつけない子どもたちがいる。菅原文太さんは「政治は戦争をしないこと、国民を飢えさせないこと」と遺言を残した。

青年たちが飢える事のない、戦争のない未来を創出する政治であってほしい。